



# さくら並木

## 雑感～環境変化への対応と心の拠り所～

大河原町長 齋 清志

早い梅雨明けから猛暑の夏となりましたが、皆さまには暑中お見舞い申し上げます。農作物への影響や水不足が心配されますが、梅や枝豆等の特産品をはじめ、生り物は豊作で水稲の発育も順調のようです。梅まつり等のイベントも大盛況でした。一方、西日本豪雨の被害など同じ自然とは思えない恐ろしさも痛感させられたところです。

さて本町の現状ですが、人口は自然減（出生者数＜死亡者数）となりましたが、社会増（転入者数＞転出者数）で減少幅の歯止めとなつていきます。ありがたいことに、ここ数年は子どもも数も大きく変化することはないようです。一方、高齢者の一人暮らしと二人暮らしの世帯数が全体の2割となり、安全・



安心や生活の質が問われるようになりまし。それでも高齢化率や介護認定率の推移など、近隣の市町とは少し異なる状況もあり注目されています。

地域経済は小売・飲食業を中心に厳しい状況が見受けられるようです。しかし、他にない話題としては、割増商品券の販売や町内映画館の復活があったり、大手企業の増改築工事が始まる等景気や雇用拡大への期待も膨らんでいるものと受け止めています。

また、町の進める中央公民館の複合化リニューアルによる賑わいの創出事業は、観光や地場産業の振興に繋げるほか、起業や創業支援の窓口として新たな活性化の切り口を生むことが期待されています。さらに、県とのコラボ事業として白石川右岸河川敷周辺の活用をはかることとなり、これからの長期総合計画や国土利用計画にも位置づけられるもので、広域的な役割をも担うことになるかと考えています。

具体的子育て支援や教育環境の充実に向けては、来春の開園を目指す民間の事業を支援するほか、町の『桜保育所』も民間では担えない役割も果たす新たな施設として基本計画の策定に

入るところです。いよいよ待機児童ゼロ宣言も現実になってまいります。そして、児童生徒の『自己肯定感』や『志』を高めるために、今後とも教育現場の支援に努めてまいり所存です。

高齢者福祉については医療も含め、地域包括ケアの体制整備を進めながら、多職種の連携強化に努めてまいります。また全体像からだけでは見えてこない個別の課題解決にも努めながら、現状を示すデータの見える化に取り組みすることが重要だと受け止めています。

以上のように、行政を取り巻く課題は山積し、求められる視点も多様化の一途をたどっています。このなかにあつて、公平・客観・中立といったようなことばかり捕われていても解決策は見えてこないのが現実です。養老孟司氏の『バカの壁』ではありませんが、二元論にはまっぴら強固な壁をつくってはならないと常に自らを戒めています。二宮尊徳公の示す『たいのみの水』の例話のように『欲をおこして水を自分のかき寄せると向こうに逃げる。人のためにと押しやれば我が方に帰る。』この言葉を私の人生観としてこのころです。

(7月23日記)

# 学び舎通信

町内小中学校の情報を毎月お届けします

### 18歳選挙権行使に向けて

7月6日に、大河原町明るい選挙推進協議会と大河原町選挙管理委員会との協力を得て、3学年生徒を対象とした「選挙に関する出前授業」を行いました。クイズ形式で選挙の仕組みや年代別投票率の違いなどを学びました。「若い世代が投票に行かないと、選挙公約が

高齢者向けになる可能性がある」という話もありました。最後に、模擬選挙演説を行いました。校長選挙に立候補した3名の生徒の選挙演説は、とても白熱したものでした。楽しみなかにも、近い将来に向き合う選挙について学びを深めた1時間になりました。



## 金ヶ瀬中学校

### 救急救命講座

7月3日、救急救命講座が実施されました。この講座は大河原消防署の協力のもとに2学年生徒を対象に毎年実施しているものです。署員の方々の指導により、心肺蘇生法の手順やAEDの使い方などを体験を交えて学びました。今回学んだこ

とは、いざという時に周囲の人の命を救う力になるものです。署員の方々の熱心な指導に、生徒たちも真剣な表情で応えていました。

今回の学びを通して、社会に役立つ人になりたという意識を育めればと願っています。なお、講座を受けた生徒全員に「普通救命講習修了証」が配付されました。



### 「めさせ暗唱名人！」

大河原南小学校では、朝の時間や授業時間などに、暗唱読本の練習をしています。「大きな声ではっきりと」をめあてに、全校で取り組んでいます。

5月30日には、今年度第1回目の暗唱朝会を行いました。2年生は「小さい大きい」「でんでんむしのハガキ」、5年生は「ふるさと」「為せば成る」、6年生は「椰子の実」を発表しました。どの学年も、本番に

# 暗唱大好き

南小編



向けて一生懸命練習し、よい姿勢でとても上手に発表することができました。他の学年の人や先生方から大きな拍手をもらい、満足そうにしています。聞いていた人たちの拍手にもなり、「今度は自分たちが頑張ろう。」という気持ちになったようです。

これからも暗唱読本の練習を続け、全員が「暗唱名人」になれるよう頑張っていきたいと思えます。次回は、9月12日、1・3・4年生の発表です。

## 駅前図書館今月の新刊

### ま ち の 本 棚



**一般▶ 人間の偏見 動物の言い分**  
高槻 成紀/著 【イースト・プレス】  
キツネは「ずるい」、タヌキは「マヌケ」…。そのイメージにはフケがあった！動物の「ステレオタイプ」はどこから生まれたのか。生態学者がその起源と変遷、そして「ヒトと動物の関係」をひもとく。

**児童▶ ドリーム・プロジェクト**  
濱野 京子/著 【PHP研究所】  
かつて過ごした古い家を懐（なつ）かしむ祖父を気にかけていた中学2年生の拓真（たくま）は、ある日、同級生の日菜子（ひなこ）から「古民家再生」のための「クラウドファンディング」という方法を聞く。インターネットを通じて、同級生、学校、地域、企業（きぎょう）をも巻き込（こ）んでの挑戦（ちようせん）が始まった。

**小説▶ 怪しくて妖しくて**  
阿刀田 高/著 【集英社】  
暗い土蔵の中に捨て置かれた鏡、その中で蠢くものとは…。「鏡の中」をはじめ、日常に潜む「狭間」の瞬間をとらえた、奇妙で不思議な恐怖譚全12編を収録。『小説すばる』掲載を加筆・修正。

**絵本▶ ぼく、おたまじゃくし?**  
田島 征三/作・絵 【佼成出版社】  
ぼくはおたまじゃくし。これからかえるになるんだ！でもぼくだけ、あしがはえてきません。てもでできません。やがて、なかがみんなかえるになりました。なかまたは「きょうだい！がんばれよ！」と、ぼくをばげましてくれました。ぼくはひとりぼっち。すると、いけにすんでいるいろんないきものがぼくのまわりやってくる。